

(6) 地域資源の活用・連携が不十分

・関東地方は、我が国有数の恵まれた自然や歴史、伝統、文化など地域固有の観光資源が豊富に存在するにもかかわらず、その活用と連携が不十分である。また、我が国の国際交流の玄関口であるにもかかわらず、外国人観光客への配慮が不足している。

○外国人観光客への誘致や情報発信の不足、今ある魅力的な観光資源の活用不足

- ・関東地方は我が国の玄関口として多くの外国人観光客が訪れる地域でもあり、外国人観光客の快適な観光活動を支援する必要がある。一方、国際的な比較では、まだまだ我が国の観光魅力が十分に認知されていないとはいえず、さらなる外国人観光客の誘致を行う必要がある。
- ・日本の高度成長を支えた臨海工業地域等においては、これまでの物流・産業という機能に加え、産業空間を観光に利用するという新たな視点が求められている。
- ・歴史的街なみや、離島等の多く残されている自然等の観光資源を活用することにより、地域が個性ある発展を将来に亘り着実に進めることが求められている。(図1-16)

○スポーツ・レクリエーション施設、展示見学施設の地域偏在、交通アクセス整備の遅れ

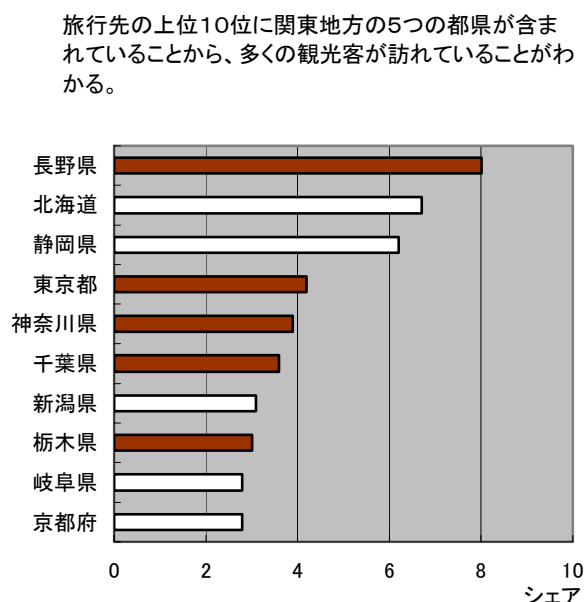
- ・関東地方には、我が国有数の恵まれた自然や歴史、伝統、文化など地域固有の観光資源が豊富に存在し、全国的にみても非常に多くの観光客が訪れている。(図1-17) しかしながら、地域づくりや街づくりの面において、十分にその活用や連携が図られていない状況にある。
- ・例えば、余暇・文化・観光施設の集積をみると、スポーツ・レクリエーション施設、展示見学施設は地域別に偏在しており、これらに関東地方の人々が広域的に利用できるようにするためには、交通アクセスの整備が課題と考えられる。

図1-16 世界遺産及び重要伝統的建造物群保存地区の分布



出典：関東地方整備局資料

図1-17 国内宿泊観光レクリエーション旅行の行き先(上位10位)



出典：日本観光協会国際観光ホテル整備センター
('98年12月末現在)